

令和6年度静岡大学自己点検・評価結果に基づく改善策

No.	改善事項	改善計画	実施時期	推進責任者
1	大学院入試の入試事故の再発防止	大学院教務・入試委員会において、各部局で定めている入試ミス再発防止策を実施しているか確認し、必要に応じて更新・周知を行う。また、入試ミスが発生することのないよう、令和6年9月に各部局に注意喚起を行った。今後も継続して注意喚起を行う。	令和6年度	全学教育基盤機構長
2	入学定員及び収容定員の充足率の適正化	大学院教務・入試委員会において各部局の入学定員及び収容定員充足率を確認する。また、大学評価の各評価区分における超過・充足率の基準を満たすため、入学定員充足率及び収容定員超過・充足率が「1.1倍以下、1.0倍以上」となるよう、令和6年10月に各部局に注意喚起を行った。今後も継続して注意喚起を行う。	令和6年度	全学教育基盤機構長
3	静岡キャンパスの共通教育エリア及び教育学部エリアの再整備計画の推進	静岡キャンパスの再整備として、最も老朽化が進んでいる共通教育エリアと教育学部エリアについて、戦略的なスペースマネジメントによる既存保有施設の有効活用を念頭に、該当施設の関係部署と協議の上で、再整備計画の見直しを行う。	令和7年3月	施設・環境マネジメント委員長